

# 能勢高校ニュースレター 2014春号



桜の便りが次々に聞かれるこのごろ、春風を感じに外へお出かけになるのも良い季節となりました。

能勢高校では、多くの皆さんに教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知っていただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行しています。今回の春号では、3学期の活動を中心に構成いたしました。

ぜひご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。

<http://www.nose-highschool.ed.jp/>

## マレーシア修学旅行でのアスタ高校との学校交流

1月20日から24日にかけて、2年次生がマレーシアを修学旅行で訪れ、第8回目となるアスタ高校との学校交流を行いました。アスタ高校では、全員が英語を話し、マレー系、中国系、インド系の生徒がともに学び、多文化共生や異文化理解が尊重されています。

本校生たちは、約1年前からマレーシアについて学習し、アスタ高生と個別にメール交換や写真交換などの交流を続けてきました。当日は、朝8時30分に学校に到着。各々の交流相手を確認し、交流会が始まりました。本校生からは、学校紹介のプレゼン、人形浄瑠璃の披露、キロロの“未来へ”の合唱などを行いました。アスタ高生たちも、民族舞踊や歌、伝統的な結婚式のパフォーマンスを披露するなど、熱烈に歓迎してくれました。また、お互いの交流ノートを交換し、マレーシア料理を一緒に食べた後、午後からは、アスタ高生のリードでクアラルンプール(KL)市内を散策しました。夕食のパーティーは、両校生たちが企画し、歌やダンスなどのパフォーマンスを競うなど、全員が心から打ち解け、大きな感動を呼ぶものとなりました。まる一日かけた交流の終わりには、多くの生徒が涙を流し、別れを惜しんでいました。

マレーシアでは、この学校交流に加え、世界遺産マラッカ訪問、熱帯雨林トレッキング、イスラム教・ヒンズー教・仏教の代表的な寺院の見学なども行いました。この旅行を通じ、外国の友人を作ることができ、多民族国家であるマレーシアの文化に直接触れることができました。また、環境問題を考え、日本の文化を見つめなおすとともに、英語力を身に付けることの重要性を肌で感じ取ることができました。

アスタ高校正門での歓迎



伝統ゲーム「チヨンカ」



夕食パーティーでのダンス



ジャングルトレッキング



ヒンズー教寺院の見学



KL ツインタワー



## 中学3年生への土曜日講習会を実施

大学進学をめざすための総合学科「人文・理数系列」への接続、あるいは高校入学後すぐに大学等への進学学習をスタートさせるため、昨年度から、連携中学校3年生のうち希望者を対象として、全12回の土曜日講習会を実施しています。教科は、国語、数学、英語で、知的好奇心を高めたり、高校での内容を先取りするなど発展的な学習を中心とし、本校教員が担当します。



中学生にとり、土曜日に高校に出向き、学習することは、たやすいことではありませんが、最後まで頑張り抜くことで、今後の学習や高校生活を全うするための意欲や気力を養うことができ、かならずプラスとなります。能勢町教育委員会の計らいにより、西中学校、東中学校から本校までの送迎バスも運行していただきました。今年度は13名の中学3年生が参加しました。

## 中学1年生への授業見学会を実施

連携中学生が早い段階から、本校を知り、本校に対する理解を深めてもらうため、今年度から、中学2年生には、7月の授業体験入学と10月のクラブ体験入学、1年生には、授業見学会を実施しています。11月8日（金）には東中学校1年生、1月11日（金）には西中学校1年生が本校を訪れました。両日とも、全体説明のあと、農場と本校にわかれて、授業を見学しました。全体説明では、能勢高生制作の「能勢高校の学校生活」の映像を見て、また、学校案内のパンフレットをもとに、能勢高校の教育の特色についての話を聞きました。農場では農業科の授業を見学し、本校では国語、数学、英語などの座学（教室での授業）を見学しました。見学した中学1年生からは、「とても難しいことを、勉強している感じがした。」「しばらく見ていると、漢文の内容がわかって楽しかった。」「中学校にはない、いろんな授業があって楽しそう。」などの感想があり、中学生にとって能勢高校の雰囲気や授業内容を知るための良い機会となりました。



## 平成25年度大阪府人権作文コンクールで優秀賞を受賞

大阪府人権作文コンクールにおいて、本校2年次生の村上一貴君が人権映画「ウィニング・パス」感想文で、山田悠さんが「人権について」の作文で、府下5176作品の中から優秀賞に選ばれました。本校では、昨年度の最優秀賞と優秀賞の受賞につづき、2年連続の受賞となります。

2月1日（土）教育センター大ホールで、大阪府教育委員会の開催する「平成25年度・人権文化発表交流会」において2人に表彰状が授与されました。また、本校に対し感謝状もいただきました。



## いのちの大切さを学ぶ作文コンクールで表彰

12月19日（木）、能勢町豊能警察署にて、「命の大切さを学ぶ教室作文コンクール表彰式」が開催されました。これは7月10日に大阪府警察本部総務部・豊能警察署・大阪府政策企画部青少年地域安全室治安対策課・少年犯罪被害当事者の会の協力で行われた一井綾子氏の講演会を聴講した1年次生のうち優秀作文を書いた本校生徒7名を含め、能勢町内の中高生が表彰されたものです。

能勢町長賞を受賞した副田奈奈さんは授賞式で講演会の感想と命の大切さへの想いを発表しました。

能勢町教育長賞の福田秋桜さん、豊能署長賞の野瀬彬水さんをはじめ、福西美乃さん、金原朋世さん、稲垣伊織さん、中井智晶さんにとっても、多くの人たちの前での授賞式は貴重な体験となったことと思います。



## 人気産業活用人材育成事業成果発表会で発表

12月16日（月）エル大阪にて、人気産業活用人材育成事業成果発表会が開催されました。工業や農業など府内の実業系を中心とした18の高校が、各学校に配置されているコーディネーターの紹介のもと、それぞれの学校におけるキャリア教育の取り組みの成果を発表しました。

本校は、農業クラブ2年次生、上坊つかささん、内門優斗君、谷井宏基君の3名が、9月29日（日）本校農場にて、京都新聞旅行センターとの共催で実施した「学校農場を活用した日帰りの観光ツアー」の実践を発表しました。また、1年生次5名が発表を見学しました。発表した生徒たちは、また一つ自信をつけることができました。



## 卸売食品展示会 うまいもん甲子園ブースに参加

1月16日（木）17日（金）の2日間、インテックス大阪で開催された、株式会社日本アクセス近畿支社主催の「春季展示商談会」において設定された「ご当地！絶品うまいもん甲子園」のブースに、農業クラブの2年次生上坊つかささん、1年次生の稲垣伊織さん、北村茜さん、金原朋世さんの4名が出展しました。生徒たちは、能勢町の特産品「銀寄栗」や学校で栽培している「紫黒米」を用いたオリジナルメニューの「からくり酢豚丼」を1000食用意し、来場者・参加者に試食してもら



いました。試食された方からは、味・アイデアとも高く評価していただき、商品化も可能ではないかという、うれしい声もいただきました。2日間にわたり、接客・調理を行った甲斐があり、生徒はコミュニケーションの取り方や、効率的な調理方法等多くのことを学ぶことができ、大変有意義な活動となりました。また、この展示会には約300社の食品メーカー等が出展を行っており、調理品や加工品、パッケージデザインなど面白いものも多く、今後の活動の参考になりました。

## 第60回卒業証書授与式を挙行

2月28日（金）多くの来賓と保護者の臨席のもと、第60回卒業証書授与式を挙行することができました。今年は、各クラスの代表者である生徒諸君（1組藤原直人君、2組松村玲奈さん、3組向井裕介君）に卒業証書が授与されました。生徒会長の津波古真美さんからの卒業生を送る言葉は、とても温かみのある内容でした。

卒業の言葉は、1組高橋美沙紀さん、2組井上さわさん、3組白坂彩葉さんの3名が代表で高校時代の思い出と先生方への感謝の気持ちを自分たちの言葉で伝えてくれました。最後に卒業生全員が気持ちをひとつにし、いきものがかりの「歩いていこう」を卒業の歌として斉唱しました。能勢高校の教育の成果を確かめることのできた、本当に感動いっぱいの卒業式でした。



### がんばっているクラブの紹介 シリーズ5 漫画研究部

漫画研究部は、のびのびと漫画やイラストを描き、冊子やグッズを作成するなどの活動をしています。地域のお祭りなどでコスプレダンスを行ったこともあります。能勢高校を応援する会のキャラクタ「クリカ」は2年生の細見結美さん考案のものです。写真は文化祭のバザーの様子。



### 「がんばれ能勢高生！」～先輩からのエール～



能勢高校ではバスケットボール部に所属し、毎日熱心に練習しました。部活でも勉強でも、先生方から熱心な個人指導を受けることが出来ました。少人数で中高一貫の能勢高校だからできる個人指導だと感じました。

現在、私は大学で企業と共同研究を行っています。そのため2、3か月ごとに研究成果を企業へ報告する義務があります。「日々の実験」及び「研究成果を相手にわかりやすく説明するための資料作り」には、体力と粘り強さが必要です。その体力と粘り強さは、高校時代に勉強や部活に対して一生懸命取り組んできたことで得られたものだと思います。

平成21年卒 55期生 村岡 智裕さん

兵庫県立大学大学院 工学研究科 機械系工学専攻 博士前期課程2年



私の高校生活はとても充実したもので、やれるだけのことは精一杯やってきたと自信を持って言えるものになりました。それは、能勢の素晴らしい環境と親身な先生方のお陰だと思います。土日や長期休みに活動することも多く、当時は大変だといった想いもありましたが、他の生徒には経験できないことを私は経験しているという自負があり、農業クラブ、生徒会、ユネスコ、観光甲子園、オーストラリア研修など、様々な活動をしてきました。

栄養学部に進み管理栄養士をめざすようになったのも、こういった活動や総合学科の多様な授業の影響がとても大きいです。皆さんには、この機会を無駄にすることなく、自分のために上手に使って貰いたいです。

平成24年卒 58期生 石田 麻莉さん 甲子園大学 栄養学部 栄養学科3回生